

いきました。

十二時になり起こしにいく事になりました。あれだけ自分で言うて眠ったのだから、今日はすんなり起きるのだからと期待した私が甘かった。誓「おとうさん、おとうさん」軽く

身体を揺する、起きるんでしょ。十一時よ。」

智「...。(眉間にしわを寄せる)」「誓」(少し声を大きくして)「おとうさん。(揺する)」

智「(迷惑そうな怖い顔をして)わかった、わかった。確かに起こしてくれ。わかった!」

と、声を荒げて迷惑千万といわんばかりの偉そうな言い方。

そこまで言われたらさすがに私も起こす気も失せてしまい退散。勿論、智寧さんは起きてきませんでした。

翌朝、智寧さんは早朝から仕事をしていたようで、起こしてもらえなかった被害者だと思っているらしく不機嫌顔。加害の事実を伝えると、「ほんまに? ほんまに俺そんなこといつてた? ごめん、ごめん。全然憶えてないわ...」と智寧さんは何とも言えない申し訳なさそうな顔になり、頭をかきながら私に謝りました。

昨夜の不条理な気持ち収まら

ず、自分の悪い私も「憶えてない言われたらなあ...」しゃあないなあ(関西弁)と心の中で許しかけていると、

「ホンマはお母さん、作り話してるんじゃないの?」と一転何もしてないような顔をして、人を疑うような発言。仏教では、知っていて犯す罪より、知らずに犯す罪の方が深いとか...

消えかけた火に油を注いでしまいました。"ちよっとええかんげんにしてやーっ、...二度と起こしてやるもんか!" 堅く心に誓った私でした。

「いつたんえ 降誕会」とまる

今年も親鸞さまのお誕生日である降誕会(五月十一日)が各西教寺でつとまりました。

ながのきほんぼう 長ノ木本坊では、恒例のお抹茶のお接待、三津田支坊では参詣者に無料でお齋がお接待されました。いずれも婦人会のご報告によるもので

三津田支坊の材料は 佐々木佐さんが寄付して下さいました。都会では高額にしないと人

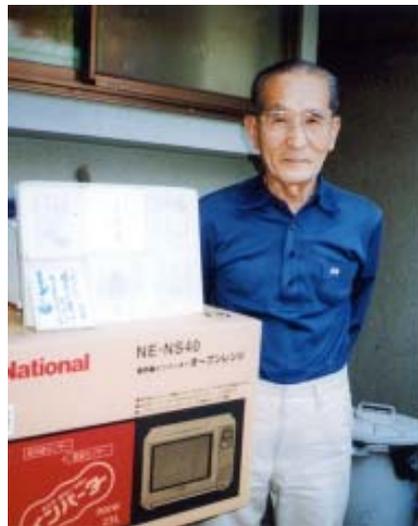


三津田支坊のお齋



ウサギ追いしかの山

が集まらないそうですが、そんな時代だからこそ「無料」ということの意味を味わいたと思います。また、蔵本通支坊では恒例のペンダー



今年には特に豪華賞品が揃った。写真は、電子レンジと妙好人源佐の言葉入り皿が当たった本片山数雄さん。

△大会が行われ、日曜学校の生徒を含め、百名を超える参詣者でにぎわいました。今年には特に、三ヶ寺とも劇団はぐるま座によるミニミニコンサートがあり、参詣者は鍛え上げられた声による歌と詩(峠三吉)の朗読に聞き入りながら、平和について思いをめぐらしました。

お礼



【三津田支坊お供え】 地震で壊れた門扉 佐々木伝さん



- 【三津田支坊降誕会】 お供えのお餅 臼井哲実さん お齋の材料 佐々木伝さん
- 【蔵本通支坊ペンダー賞品寄付】 木村綾美・齊藤芳樹・吉中三工・平本訓子・吉中武雄・田慶子・平本又子・長沖和子・高須賀三井・小堀長一・石田本和・井上力・小田原・石田高須賀三井・小堀長一・石田江局・パナソニック・小田原・石田金延・子・樋口静・福島真介・堀岡春三・樋口静・福島真介・崎ヤラ・橋詰サトウ・多田大樹・村高志・岩崎遊(順不同敬称略)
- 【寺報へ寄付】 梶本恵美子(太宰府市) 久保田和子(さいたま市) 勝本敏正(いわき市) 松本ミサヨ(千葉県花見川区) 松山静香(広島市) 水口光昭(呉市) (敬称略)
- 【土曜日曜学校へ】 吉中武雄さん・高須賀三工さん ベン(童話など) 濱中篤美さん 本(童話など) 濱中篤美さん
- 【有事実案反対署名 (百万人署名運動)】 約百五十名がご署名下さいました